

電源別の特徴



各電源の特徴

発電方法にはそれぞれメリットとデメリットがあり、すべてに秀でたものはありません。経済性・安定供給・環境への

適合など、それぞれの発電方法の特徴をふまえて活用することが大切です。

	○ メリット	× デメリット
<p>石油</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の運搬・取り扱い・貯蔵、発電出力の調整が容易 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の埋蔵量が少ない ● 他の化石燃料に比べ価格が乱高下しやすい
<p>石炭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 埋蔵量が豊富で安定的に調達可能 ● 他の化石燃料に比べ安価 	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量が多い
<p>天然ガス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の化石燃料に比べCO₂排出量が少ない ● 発電出力の調整が容易 	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期貯蔵・機動的な調達が困難 ● 輸送コスト・液化コストが高い
<p>原子力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 発電時にCO₂を出さない ● 安定的に大量の発電が可能 ● 燃料を安定的に調達できる(準国産エネルギー) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一事故が起こった際のリスクが甚大なため、安全対策の徹底が必要 ● 高レベル放射性廃棄物の最終処分地の選定が必要
<p>水力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国産エネルギー ● 安定的に発電が可能 ● 運転コストが低い(一般水力) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模開発の余地が限定的
<p>風力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国産エネルギー ● 今後の導入拡大が見込まれる ● 他の再生可能エネルギーに比べ設備コストが低い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大量に発電するには広い面積が必要 ● 出力が不安定(天候に左右される)
<p>太陽光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国産エネルギー ● 小規模な利用が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発電コストが高い ● 大量に発電するには広い面積が必要 ● 出力が不安定(天候に左右される)

各電源の役割

私たちが使う電気の量は常に変化しています。電気は大量に貯めておくことができないため、消費量(需要)に応じて発電量(供給)を調整する必要があります。



電源の特徴や経済性などを考えて調整するんだね。

消費(需要)の変化に対応した電源の組み合わせ(例)

